

第1号議案 平成23年度決算報告について

平成23年度 南信州地域交通問題協議会 会計決算書

収入金額	13,335,782 円
支出金額	12,389,327 円
差引残額	946,455 円

(収入)

(単位: 円)

科目	予算現額	決算額	比較増減	備考
負担金	3,100,000	3,100,000	0	南信州広域連合負担金 3,100,000
補助金	12,004,000	10,156,000	1,848,000	地域公共交通活性化・再生総合事業補助金
繰越金	79,209	79,209	0	前年度繰越金
諸収入	791	573	218	利息
計	15,184,000	13,335,782	1,848,218	

(支出)

(単位: 円)

科目	予算現額	決算額	比較増減	備考
運営費	349,000	393,267	44,267	
報償費	200,000	263,088	63,088	委員等報償費(幹事会2回、総会3回)
旅費	100,000	94,341	5,659	講師旅費、委員旅費(幹事会2回、総会3回)
消耗品・事務費	49,000	35,838	13,162	通信運搬費、振込手数料
事業費	2,830,000	1,840,060	989,940	利用促進事業 名古屋大学の委託料 600,000 広報誌(3回) 999,600 ナイトバス 144,910 路線図(飯田駅前) 95,550
補助金	12,004,000	10,156,000	1,848,000	運行事業者補助金 ・阿島循環線 5,260,709 ・駒場線 2,611,495 ・上市田線 2,283,796
予備費	1,000	0	1,000	
計	15,184,000	12,389,327	2,794,673	

差引残高 946,455 円 は次年度に繰り越します。

平成23年度南信州地域交通問題協議会収入支出決算監査報告書

平成23年度南信州地域交通問題協議会会計の収入支出決算について監査したところ、諸帳簿、証拠書類ともに整備され、正確に処理されていることを認めます。

平成24年 5月 10 日

監 事 飯田商工会議所

会 頭 柴 田 忠 昭 

平成24年 5月 8 日

監 事 社会福祉法人 飯田市社会福祉協議会

会 長 福 田 富 廣 

1 路線バス「阿島循環線」・「駒場線」、乗合タクシー「上市田線」の実証運行
 (1)各路線の概要

	路線バス 阿島循環線	路線バス 駒場線	乗合タクシー 上市田線
運行の態様	第4条(事業認可)	第4条(事業認可)	第21条(乗合旅客運送)・デマンド有
運行系統	3系統 始発便(22.8km) イオン経由(23.2km) ほっ湯アップル経由(26.2km)	7系統 駒場線(11.8km) 市立病院経由(18.1km) 阿智高経由(13.5km) 飯田高校線(14.3km) 昼神温泉線(16.1km) 阿智高経由昼神温泉(16.1km) 飯田高校発昼神温泉(17.0km)	区域運行 (下伊那郡高森町、飯田市座光寺、上郷、市街地、鼎エリア)
運行期間	H23.4.1～H24.3.31	H23.4.1～H24.3.31	H23.4.1～H24.3.31
運行日	平日及び土曜日運行 但し、祝祭日及び12/31～1/3運休	毎日運行 但し、12/31～1/3日曜ダイヤ(1/1は運休)	平日運行 但し、祝祭日及び12/31～1/3運休
運行回数	平日 8便/日 土曜 2便/日	平日 40便/日 土曜 18便/日 日曜祝日 12便/日	平日 6便/日
使用車両	中型バス(46人)/2台	大型バス(80人)/6台	ジャンボタクシー/1台
停留所	56箇所	58箇所	47箇所
運賃	対キロ制 100円～610円 学生の通学定期 (上限:1か月10,000円、3か月28,500円) 小学生以下及び割引証明者は半額	対キロ制 130円～830円 100円～620円 (市立病院経由) 学生の通学定期 (上限:1か月10,000円、3か月28,500円) 小学生以下及び割引証明者は半額	定額・エリア制 300円～550円 学生の通学定期 (上限:1か月10,000円、3か月28,500円) 小学生以下及び割引証明者は半額
運行事業者	信南交通株式会社	信南交通株式会社	北部タクシー有限公司

(2)路線バス「阿島循環線」・「駒場線」及び乗合タクシー「上市田線」の運行実績

(H23年4月～H24年3月)

路線名 月	阿島循環線 利用者数	前年比	駒場線 利用者数	前年比	上市田線 利用者数	前年比
4月	(1,311)	103.7 %	(15,511)	99.5 %	(206)	98.5 %
	1,359		15,438		203	
5月	(1,180)	112.6 %	(14,136)	111.0 %	(200)	86.5 %
	1,329		15,684		173	
6月	(1,254)	125.1 %	(16,113)	107.6 %	(253)	88.9 %
	1,569		17,342		225	
7月	(1,347)	102.2 %	(15,294)	97.8 %	(217)	92.2 %
	1,377		14,959		200	
8月	(1,234)	101.9 %	(11,240)	107.5 %	(228)	82.5 %
	1,258		12,084		188	
9月	(1,327)	101.9 %	(15,557)	98.4 %	(240)	95.4 %
	1,352		15,306		229	
10月	(1,336)	95.4 %	(15,298)	101.8 %	(225)	108.4 %
	1,275		15,568		244	
11月	(1,315)	112.8 %	(15,472)	101.5 %	(208)	112.5 %
	1,483		15,709		234	
12月	(1,231)	105.8 %	(14,230)	104.5 %	(220)	102.7 %
	1,303		14,865		226	
1月	(1,173)	115.5 %	(13,300)	100.9 %	(202)	92.6 %
	1,355		13,420		187	
2月	(1,271)	105.4 %	(12,278)	118.3 %	(198)	113.1 %
	1,340		14,529		224	
3月	(1,410)	99.1 %	(10,440)	99.1 %	(215)	107.9 %
	1,397		10,350		232	
合 計	(15,389)	106.6 %	(168,869)	103.8%	(2,612)	98.2 %
	16,397		175,254		2,565	

()内数字は昨年の同月の利用者数

[考察]

- ・「阿島循環線」「駒場線」の2路線については、昨年度より利用が伸びている。(3年連続の増)
- ・「上市田線」については、昨年度よりも利用が減り、加えて第1便の定時便(予約なし)の利用率14%の減となった。(参考:月の平均利用率 H22 75% H23 62%)

2 南信州公共交通システムブランディング（認知度向上）事業

圏域住民に対して、地域全体が「南信州公共交通システム」による一体的な交通体系であることを認識してもらい、公共交通への関心を高める。また、圏域住民や圏域外からの来訪者に対しても分かりやすい公共交通体系を目指す。

(1) バス路線マップの作成

設置日：平成 23 年 10 月

設置場所：飯田駅前停留所



昨年度作成した圏域全体のバス路線マップを活用し、地域住民への公共交通への関心を高め、市町村の路線間（接続）について認知につなげる目的で掲示用のマップを作成した。

また、10月1日に開設した飯田駅前発券所内にも各市町村バスの時刻表を常設するスタンドを設置し、公共交通の情報発信基地としての機能を高めた。

(2) 広報誌「のってみまいか、公共交通」の発行

圏域住民に対して、公共交通に関する情報発信を行い、利用促進につながる広報誌を3回発行した。圏域が一体となった公共交通であるという認知と理解の向上につなげた。

第1号

発行時期：平成 23 年 9 月

内 容：通学・通院での公共交通利用の促進について

第2号

発行時期：平成 23 年 12 月

内 容：環境を切り口とした利用転換について

第3号

発行時期：平成 24 年 3 月

内 容：4月からの運行変更についてと利用促進について

3 公共交通の利用促進・利用転換事業

(1) 通学定期券の発行

長距離乗車の負担軽減と公共交通への利用転換を目的に、通学定期券の最高額を1ヶ月10,000円、3ヶ月28,500円に設定。

(参考)	利用区間の例(H22)	運賃 (片道)	旧定期券		新定期券	
			1ヶ月	3ヶ月	1ヶ月	3ヶ月
	(駒場線)伊賀良局前～飯田高校前	410	12,920	36,810	10,000	28,500
	(三穂線)立石～飯田駅前	500	15,750	44,890		
	(遠山郷線・平岡線)上町～平岡	1,050	26,780	76,310		
	(遠山郷線)かぐらの湯～飯田駅前	1,350	29,930	85,290		

【利用実績】(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	4月～2月		増減	前年度比	備考
	22年度	23年度			
駒場線	1,107	1,626	519	146.9%	
駒場線	804	1,137	333	141.4%	
飯田高校線	230	351	121	152.6%	
市立病院経由駒場線	73	138	65	189.0%	
阿島循環線	13	14	1	107.7%	

(2) 年忘れナイトバス

地域の公共交通の利用促進の一環として、夜便を1本増発

- ・実施日 12月の第1～3金曜日、第4木曜日(計4便)(12/2、9、16、22)
- ・実施路線名 駒場線(切石経由)
- ・始発時間 21時30分(飯田駅前発)
- ・区間 飯田駅前停留所 曾山入口停留所
- ・運賃 通常区間料金の2倍(1,000円上限)
- ・協力組織 飯田警察署(広報) 飯田商工会議所(企画連携)
- ・その他
 - ・西部地区(飯田市山本、阿智村、平谷村、根羽村)はJRが通っていないことから試験的に実施する。
 - ・沿線市村の折り込み広告の実施と各戸配布(計10,000部)

【利用実績】

	12月2日	12月10日	12月17日	12月24日	合計	備考
利用人数	2人(3)	3人(12)	1人(3)	1人(3)	7人(21)	カッコ内は昨年

4 情報提供事業

南信州地域公共交通ホームページ (<http://kk.mi7mi.org/>) において、運行に関する情報や工事等による経路変更等の情報提供を行った。

<更新履歴>

平成 23 年 5 月

阿島自動車学校前交差点付近通行止めに伴う村民バス及び阿島循環線の迂回について (H23.5/23 ~ 6/10)

平成 23 年 6 月

南信州地域交通問題協議会臨時総会の情報公開 (公表)

平成 23 年 8 月

お盆期間前後の運行について

平成 23 年 10 月

小川渡橋通行止めに伴う村民バス及び阿島循環線の迂回について (H23.10/17 ~ 12/28)

平成 23 年 12 月

年末年始の運行について

平成 24 年 1 月

南信州地域交通問題協議会 総会の情報公開 (公表)

平成 24 年 3 月

南部公共バスの運行変更のお知らせ

平成 24 年 3 月 6 日に国道 151 号阿南町見名 (けんな) 地籍で土砂崩落による

5 各協議会及び市町村など関係機関と連携した、既存公共交通の改善に係る事業

- ・今年度実施した「ナイトバス」については、構成組織である飯田警察署及び飯田商工会議所と連携し、広報面で支援を受け利用促進事業を実施した。
- ・天龍村の公共交通 (村営バス、福祉バス等) について、名古屋大学と連携し村内の公共交通の実態調査事業を実施した。今後、この結果をもとに天龍村と協議を行う。

第2号議案 平成24年度予算(案)について

平成24年度 南信州地域交通問題協議会 会計予算(案)

収入金額	4,047,000 円
支出金額	4,047,000 円
差引残額	0 円

(収入) (単位:円)

科目	H24予算	H23予算	比較増減	備考
負担金	3,100,000	3,100,000	0	南信州広域連合負担金 3,100千円
補助金	0	12,004,000	12,004,000	
繰越金	946,455	79,209	867,246	前年度繰越金
諸収入	545	791	246	
計	4,047,000	15,184,000	11,137,000	

(支出) (単位:円)

科目	H24予算	H23予算	比較増減	備考
運営費	519,000	349,000	170,000	
報償費	360,000	200,000	160,000	委員等報償費等
旅費	130,000	100,000	30,000	講師・委員の旅費、交通費等
消耗品・事務費	29,000	49,000	20,000	通信運搬費、振込手数料
事業費	3,520,000	2,830,000	690,000	1 南信州公共交通システム認知度向上事業 800千円 2 公共交通利用促進・利用転換事業 700千円 3 情報提供事業 400千円 4 関係機関との連携、改善事業 1,620千円
補助金	0	12,004,000	12,004,000	
予備費	8,000	1,000	7,000	
計	4,047,000	15,184,000	11,137,000	

・ H23 予算欄は補正後の予算額を記載

(理由) 市町村から運行事業者への補助について、当協会の会計を通さず運行事業者へ直接補助となったため、これによる平成23年度の補正予算額と平成24年度予算との比較とした。

・ 予算の各科目に過不足が生じた場合、会長が認める場合には流用が出来るものとする。

南信州公共交通システムを確立し、南信州地域公共交通総合連携計画に掲げた目標を達成するため、以下の事業に取り組む。

- 1 南信州公共交通システム認知度向上事業 事業費 800 千円
地域全体の公共交通体系である「南信州公共交通システム」を広く周知し、自家用車主体の生活様式から公共交通主体への変化を促す。
広報誌等を発行して、公共交通に対する理解の向上を図る。
イベントと連携し公共交通利用の啓発につなげる
- 2 公共交通利用促進・利用転換事業 事業費 700 千円
様々な利用促進、利用転換事業を実施していくことにより、利用者拡大を図る。
利用者の負担軽減による定期券や運賃の見直しを検討する。
名古屋大学と連携し利用促進・利用転換につながる事業に取り組む。
ノーマイカーデーを実施し、利用促進・利用転換につなげる。
- 3 情報提供事業 事業費 400 千円
ホームページによる当地域の公共交通情報の一元管理や、利用者に分かりやすい時刻表を作成することで、公共交通の利便性向上につなげる。
当地域の公共交通のポータルサイト（玄関口）としての位置づけを強化するため、ホームページの改修を行う。
緊急時における公共交通の情報共有と輸送体制の検討を行う。
- 4 各協議会及び市町村等関係機関と連携した、既存公共交通の改善事業 事業費 1,620 千円
公共交通をより利用しやすいものとするため、当地域における既存公共交通との連携や改善を図る。
市町村に対して公共交通の取り組みに関する側面的支援を行う。（生活交通ネットワーク計画や自治体内の公共交通に関する検討等）
高校生と連携し、公共交通の利便性や認知度の向上を図る。
飯田駅前停留所のターミナル機能を強化し、公共交通を利用しやすい環境にするための施設整備を行う。
- 5 次期総合連携計画に策定に向けた検討事業 事業費 0 千円
市町村と連携し、圏域内の持続可能な公共交通の基本方針の検討を行う。
市町村と一体となった計画とするため、基本方針や様々な検討を行う。
- 6 結節点整備事業 事業費 0 千円
円滑な乗り継ぎや乗り換えを効率的に確保するための検討を行う。
JR、バス、乗合タクシーとの乗り継ぎや乗り換えの効率につながる案内表示等の検討を行う。

平成24・25年度地域公共交通確保維持改善事業 申請一覧

< 南信州地域 >

市町村名	運行予定者名	運行系統名	地域間幹線 / 地域内フィーダーの別	地域内フィーダー系統の基準適合(別表6「補助対象の基準」)			H24年度申請 H23.10.1～ H24.9.30	H24年度申請 H24.4.1～ H24.9.30	H25年度申請 H24.10.1～ H25.9.30
				基準口で該当する要件(1)	接続する補助対象 地域間幹線系統等と接続確保	基準二で該当する要件(2)			
飯田市	信南交通㈱	路線バス駒場線(駒場系統)	地域間幹線						

計 1系統

市町村名	運行予定者名	運行系統名	地域間幹線 / 地域内フィーダーの別	地域内フィーダー系統の基準適合(別表6「補助対象の基準」)			H24年度申請 H23.10.1～ H24.9.30	H24年度申請 H24.4.1～ H24.9.30	H25年度申請 H24.10.1～ H25.9.30
				基準口で該当する要件(1)	接続する補助対象 地域間幹線系統等と接続確保	基準二で該当する要件(2)			

飯田市	信南交通㈱	路線バス駒場線(市立病院系統)	地域内フィーダー		駒場線(補助対象地域間幹線系統)と接続	H24年4月から本格運行		
	"	路線バス阿島循環線	"	"	"	"		
	"	路線バス阿島循環線(ぼっ湯アップル経由)	"	"	"	"		
	"	市民バス千代線	"	"	"	H23年4月から本格運行		
	"	市民バス久堅線	"	"	"	"		
	"	市民バス三穂線	"	"	"	"		
	"	路線バス遠山郷線	"	"	"	"		
	"	路線バス平岡線	"	(1)過疎地域	JR飯田線平岡駅と接続	"		
	南信州広域タクシー・飯田タクシー(有)	乗合タクシー竜東線(千代)	"	"	駒場線(補助対象地域間幹線系統)と接続	"		
	南信州広域タクシー・飯田タクシー(有)	乗合タクシー竜東線(久堅)	"	"	"	"		
松川町	伊那バス(株)	大島循環(午前1便)	地域内フィーダー	(2)交通不便地域(地方運輸局長指定)	JR飯田線伊那大島駅と近接	H23年4月から本格運行		
	"	大島循環(午前2便)	"	"	"	"		
	"	大島循環(午前3便)(午後便)	"	"	"	"		
	"	上片桐通学便	"	"	"	"		
	"	上片桐循環(午前1便)	"	"	"	"		
	"	上片桐循環(午前2便)(午後1・2便)	"	"	"	"		
	丸茂自動車(有)	生田循環峠部奈線(午前1便)	"	"	"	H24年4月から本格運行		
	"	生田循環峠部奈線(午前2便)	"	"	"	"		
	"	生田循環峠部奈線(昼便)	"	"	"	"		
	"	生田循環峠部奈線(午後1便)	"	"	"	"		
下伊那南部(阿南町・下條村・売木村・天龍村・泰阜村)	阿南町	阿南線: 伝承センター 川路駅	地域内フィーダー	(1)過疎地域	JR飯田線川路駅と接続	H24年4月から本格運行		
	"	阿南線: 温田駅前 川路駅	"	"	"	"		
	"	阿南線: 温田駅前 飯田病院前	"	"	駒場線(補助対象地域間幹線系統)と接続	"		
	"	温田線: こまどりの湯 温田駅前	"	(1)過疎地域	JR飯田線温田駅と接続	"		
	"	温田線: 温田駅前 車庫前	"	"	"	"		
	(有) マルトハイヤー	泰阜線: 田本 天竜峡駅	"	"	JR飯田線天竜峡駅と接続	"		
阿智村	阿智村	伍和智里東線	地域内フィーダー	"	駒場線(補助対象地域間幹線系統)と接続	H24年4月から本格運行		
	"	春日智里西線	"	"	"	"		
	"	清内路線	"	"	"	"		
	"	浪合線	"	"	"	"		
根羽村	根羽村	西部コミュニティバス	地域内フィーダー	"	駒場線(補助対象地域間幹線系統)と接続	H24年10月から新規運行		
豊丘村	豊丘村	堀越線(系統)	地域内フィーダー	(1)振興山村	JR飯田線市田駅と接続	H24年4月から本格運行		
	"	堀越線(系統)	"	"	"	"		
	"	佐原線	"	"	"	"		
	"	福島線	"	"	"	"		
	"	壬生沢線	"	"	"	"		
	"	壬生沢福島線	"	"	"	"		

計 48系統

- 基準口で該当する要件...
補助対象地域間幹線系統と接続するフィーダー系統
(1) 過疎地域または振興山村地域等をその沿線を含む地域間交通ネットワークのフィーダー系統
(2) 交通不便地域として地方運輸局長等が指定する地域住民の移動確保のための地域間交通ネットワークのフィーダー系統
- 基準二で該当する要件
当該補助対象期間中に新たに運行を開始するもの
既に運行を開始しているもので生活交通ネットワーク計画に基づき新たに地方公共団体が支援を開始するもの
平成23年度以降に当該補助金の交付を受けたことがあるもの